

議 事 日 程 （第 1 号）

令和 6 年11月 1 日（金）午前10時開会

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 日程第 1         | 会議録署名議員の指名                  |
| 日程第 2         | 会期の決定                       |
| 日程第 3 議案第100号 | 湖西市学校給食センター整備・運営事業の契約締結について |
| 日程第 4 議案第101号 | 令和 6 年度湖西市一般会計補正予算（第 6 号）   |

- 本日の会議に付した事件……………議事日程に掲げた事件に同じ
- 出席及び欠席議員……………出席表のとおり
- 説明のため出席した者……………出席表のとおり
- 職務のため議場に出席した事務局職員……………出席表のとおり

午前10時00分 開会

○議長（馬場 衛） ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、これより令和6年第3回湖西市議会臨時会を開会いたします。

本日は傍聴席へ報道機関が入っております。撮影を許可した者には許可証を交付しておりますので、御報告いたします。

○議長（馬場 衛） 続いて、事務局長から報告事項を申し上げます。

〔議会事務局長 内山浩二登壇〕

○議会事務局長（内山浩二） 議案書の受理について申し上げます。第3回臨時会に市長から提出されました議案は2件でございます。その内容は契約案件1件、令和6年度補正予算1件でございます。

以上で報告を終わります。

○議長（馬場 衛） 次に、損害賠償の額の決定及び和解について、市民安全部長から報告がございました。市民安全部長。

〔市民安全部長 山本健介登壇〕

○市民安全部長（山本健介） 地方自治法第180条第1項の規定に基づき、損害賠償の額の決定及び和解に関しまして行いました専決処分について、同条第2項の規定により御報告申し上げます。お手元の報告書を御覧いただきたいと存じます。

この損害賠償につきましては、令和6年3月25日月曜日、午後2時45分頃、湖西市白須賀の国道42号潮見坂にて、職員の運転する公用車が豊橋方面に走行中、上り坂で速度が落ちたためアクセルの踏み込みを少し強めたところ、右カーブが終わる手前で時計回りにスリップして車体が回転し、そのまま制御不能となって反対側斜線のガードレールに衝突、さらに直後、対向車が公用車の左側面に衝突したものであります。

このため、損害賠償の額として対物事故分16万2,534円、対人事故分52万7,730円を市が支払うこととして和解が成立しましたので、令和6年10月21日に専決処分させていただきました。賠償額の対物事故分と対人事故分を合わせました220万264円は、全額が保険で補填されます。

今回の事故の原因でございますが、職員の運転する車両がふだんから乗り慣れていないトラックであったこと、現場が雨上がりの滑りやすい路面であったこと、トラックにはまだ荷物を積載していない状態であり、後輪への荷重がかかりにくく滑りやすさが増していたことなどが考えられます。

職員に対しましては、事故の発生状況を共有するほか、その時々状況や車両に応じた運転を行うよう指導したところであります。御理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上、報告とさせていただきます。

○議長（馬場 衛） 報告事項は終わりました。

ここで市長の挨拶がございます。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 改めましておはようございます。臨時議会で提案事項を上程させていただきましたので、御審議のほどどうかよろしくお願い申し上げます。

給食センターは、これは長いことというか大分湖西市初のPFIとして検討を重ねてまいりました。そして、ここまでまた様々な事項、またコロナもありましたし物価高騰なんかもありましたけれども、ここまでたどり着くことができました。また、これからのPFI事業に向かって市民サービスの向上、子供たちへの給食の提供ということで、おいしい給食等へ引き続き御審議をいただければというふうに思っております。

補正予算のほうは、今日ちょうどといいますか御寄附をいただきましたので、今回、補正予算を提案をさせていただきました。こちらのほうも議会のほうでお話をいただきましたユニバーサルシートに充てることができましたので、ぜひそういった形で補正予算の御審議のほどをよろしくお願い申し上げます。

あとは、ちょうど今また台風が来ておりまして、台湾のほうが被害を受けているというような報道もされておりました。もう温帯低気圧に変わるようですけれども、週末の天気が崩れるようです。今、秋の様々なイベント、行事のシーズンになってまして、10月は秋祭り等を各地区で行われましたけれども、

今週末もまた、来週末も様々な秋の行事、各地で予定されております。天気心配ですが、コロナを乗り越えて様々な行事が行われるようになってきましたので、またそういったところをぜひ皆様にも、お天気の心配はありますがぜひ御参加、そして市民の皆さんとの対話・意見交換を引き続きお願いできればというふうに思っております。

冒頭の挨拶は想定してなかったもので、すみません、全くアドリブで今やらせていただきました。本日も御審議をよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○議長（馬場 衛） 挨拶は終わりました。

---

午前10時06分 開議

○議長（馬場 衛） これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

---

○議長（馬場 衛） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、3番 寺田 悟議員、4番 山口裕教議員を指名いたします。

---

○議長（馬場 衛） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 御異議ございませんので、そのように決定いたしました。

---

○議長（馬場 衛） 日程第3 議案第100号 湖西市学校給食センター整備・運営事業の契約締結についてを議題といたします。

事務局長に朗読させます。

〔議会事務局長朗読〕

○議長（馬場 衛） 市長に提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 議案第100号につきまして御説明を申し上げます。

湖西市学校給食センター整備・運営事業につきましては、公募型プロポーザル方式により契約の相手方を選定いたしました。

基本協定の締結を経て行われた契約協議の結果、双方合意に達しましたため、株式会社湖西スクールランチと69億4,081万3,668円で契約を締結しようとするものでございます。

なお、設計・工事につきましては、令和9年1月31日の完成を予定しており、維持管理業務及び運営業務につきましては、令和24年3月31日までを予定するものでございます。

よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（馬場 衛） 説明は終わりました。

質疑を行います。質疑のある方はございませんか。  
12番 楠議員。

〔12番 楠 浩幸登壇〕

○議長（馬場 衛） 楠議員、どうぞ。

○12番（楠 浩幸） 12番 楠 浩幸でございます。議案第100号ですね、湖西市学校給食センターの整備・運営事業の契約締結についてということで、2点ほどお伺いしたいと思います。

1点目なんですけれども、要求水準書を拝見させていただいたんですけれども、環境負荷についてということで、水準書にはゼブレディを検討して提案、省エネルギーに対する具体的な提案を求めるというふうに記載がありましたけれども、どのような内容でやったのか具体的に教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（馬場 衛） 教育次長、登壇して答弁をお願いいたします。

〔教育次長 鈴木啓二登壇〕

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

ゼブレディの関係については、議員全員協議会でも少し紹介をさせていただきまして、事業者からの提案ではベルスというもので、そのうちのレベル4から6の認証を目指すということでした。

議員がおっしゃるように、要求水準書ではゼブレ

ディを検討することとさせていただいてましたので、そのところで事業者選定委員会におきましても、委員のほうからそこら辺はどうなんだという意見がございました。それに対して事業者からの回答は、前向きに検討していきたいという回答をいただきました。

今後、設計とか入っていきますのでその辺をしっかりと事業者と市で調整をして、可能な限りゼブレディに向けて調整をしていただきたいと思いますと考えております。

それから少し加えさせていただきますと、ゼブレディの認証を取得するには、まずはベルスといった認証を取得する必要があります。まずはベルスということで、まずそれが最初のステップかなということで考えておりますので、そちらのほうを今後の設計のほうでしっかりと協議をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） 要求水準書には、具体的な提案を求めるといふうに記載があったわけなんですけども、具体的な提案はなかったということでしょうか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

ゼブレディに関しては特になくて、まずはベルスの認証を取得していきたいという提案でございました。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） その担保というのは、どのように教育委員会として取られようと思ってますか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 先ほども少し申し上げましたが、事業者選定委員会の中でも委員からそこはどうかということがございまして、事業者からもそこをしっかりと前向きにもう一度検討していきたいということでしたので、同じ答弁になりますがこれからしっかりと設計協議をしてまいりたいと考えています。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） あんまり水かけになっちゃいかんのですけれども、教育委員会としてどのような担保を取ろうと考えておられるのかを聞きたかったんですけども、お願いします。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 同じ繰り返しになりますけど、今回ベルスっていうので給食センターは工場になるんですね。工場ですとレベル3が相当になるんですが、その段階の4から6を目指すということで、ゼブレディの場合はベルス6が相当ということになりますので、まずはベルスの6を目指していただけるよう、しっかりと協議していきたいと考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） 要求水準書の要求をしっかりと目指していただくように、しっかりとそこは注視をしていただいて、ベルスの5、6レベルが取ればゼブレディは取得できるかと思うんですけども、その担保をしっかりと取っていくというお約束をいただけますか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 繰り返しになります。協議をして、市としても事業者をお願いしていくところです。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） お約束していただけますかって聞いてるんですけど、どうでしょう。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） すみません、繰り返しになります。市からは、しっかりとそこを目指していきたいということをお願いをしていきます。そこは約束させていただきます。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） あまりくどくはやらないんですけども、私たち議会としてもそこは注視していきたいというふうに思います。

2点目の質問よろしいですか。

○議長（馬場 衛） どうぞ。

○12番（楠 浩幸） 今度は、ほかの議員さんもちよっと注目されてるかなと思うんですけども、水準書の中に浸水対策、それから地盤の液状化に対しても懸念をされてる記載がありました。これについてはどのような提案があったのか、伺いたいと思います。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

まず、建物の配置が護岸から6メートルほど離れた提案になっています。そこは高波対策とかそういったこと、あとは浸水対策にもつながっていくのかなというところで、そういった提案になっております。

それから液状化対策については、まず事前に市のほうで地質調査とか地歴調査、そういったものを事前にしておりまして、それらのデータを事業者に提示した上で提案をしていただいております。その内容については、例えば車両が通るところに1メートルほどのセメント処理をするんですかね、液状化対策をするということになっています。それから地盤の地質のほうですが、支持層が21メートルぐらいちょっと深くなっておりますので、そこはくい基礎というところで24メートル以上のくいを打つという提案になっております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） 2点の提案があったということなんですけれども、まず浸水対策で建物の設置位置を湖面から6メートルオフセットして建設することによって、たしかこれ1メートルくらいの浸水を懸念する数値があったと思うんですけども、6メートル離すことによって、その浸水を免れることができるというエビデンスのようなものはありますか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

津波浸水被害の想定エリアというのが、護岸から1、2メートルというエリアに今なってるんです。ちょっと遠いんですけどこの辺になってるんです。こ

のエリアから離れるように、6メートル離してるということになっております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） 大丈夫なんですね。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） あとすみません、付け加えますと、地盤面から高さを1メートルかさ上げして建物を建つということになっております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） 少し安心をしました。

それから、液状化の部分については岩盤まで21メートルのくいを打つことによって、建物は担保できるかなと思うんですけども、搬送路について地盤改良として1メートルのセメントを打つということなんです、これで液状化の防止が図れるということで理解してよろしいんでしょうか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 先ほども少しお話ししましたが、車が通るところ、駐車場に入るところであったり建物周囲の車が通るメインのところを液状化対策するというので、そちらのほうの対策を施せば大丈夫であると考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） 搬入道路についてもくい打ちを行うということでよろしいですか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） そのところはくいを打たないのですが、地盤面から高さ1メートルの深さまで掘り下げまして、そこをコンクリートで固める、セメント処理をするというような対策をすることになっています。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） ということは、くいは打たないということなんですね。液状化になったときに搬入路が、建物が残ったとしても搬入路は大丈夫だよというのは、この1メートルのセメントで大丈夫だ

ということによろしいですか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 冒頭少し申し上げましたが、市で事前に行った地質調査であるとか地歴調査であるとか、そういったデータを渡したもので専門業者が設計のほうを行っております、外構も含めて行っておりますのでそこは大丈夫だという提案で考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 楠議員。

○12番（楠 浩幸） ということで、その提案を承認したということによろしいですか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） そのとおりです。

以上です。

○12番（楠 浩幸） 分かりました、以上で質疑を終わります。

○議長（馬場 衛） 以上で、12番 楠 浩幸議員の質問を終わります。

次に質疑のある方はございませんか。

1 番 相曽議員、どうぞ。

〔1 番 相曽桃子登壇〕

○議長（馬場 衛） 1 番 相曽議員、どうぞ。

○1 番（相曽桃子） 1 番 相曽桃子です。同じく議案第100号 湖西市学校給食センター整備・運営事業の契約締結について、ちょっと質問させていただきます。

事業の目的といたしまして、施設整備の老朽化が進んでいること、また衛生管理の向上や食物アレルギーなどへの対応などの安全・安心な給食提供に関して課題を抱えているため、子供たちに安全・安心でおいしい給食を安定的に提供していけるよう、新たに給食センターを整備し、学校給食、衛生管理基準等を満たす安全・安心な学校給食の提供を確保し、効率的な学校給食事業の実現を目指すと思っております。

そこで、施設整備の老朽化は理解ができるのですが、衛生管理の向上や食物アレルギー等への対応など、安全・安心な給食提供に関しまして、課題というものは具体的にどんなことを示しているの

か、また給食センターが整備されるとその課題はどのように解決されるかを伺いたいと思います。

○議長（馬場 衛） 登壇して答弁をお願いいたします。教育次長。

〔教育次長 鈴木啓二登壇〕

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

まず課題についてということで、老朽化もしているということで、あと衛生的なところでいいますと汚染区域と非汚染区域がしっかり区分けされていないということ、あとは床面がドライ化されてない、そういった面が衛生面として課題であるということです。あと、アレルギーというところで申しますと、専用の調理室が今現状では設けられていないということが課題であるということです。

今後、給食センターができましたら、それら汚染区域と非汚染区域はしっかり区分けすることも当然のことながら、床面もドライ化するといったところで、安全・安心な給食・調理ができるものと考えております。それからアレルギーについては、専用の調理室を設けますので、そこで配膳まで行うということで、アレルギー物質への混入リスクも防げるものと考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 相曽議員。

○1 番（相曽桃子） 今アレルギーの話が出たんですけれども、アレルギーに対応した食事は最大50食ほどを提供される予定というふうになっていたと思います。現状、市内でアレルギーに今対応した食事を提供している食数の現状は今どれぐらいなのかというところと、またアレルギーの重症度、お子さんによっていろいろレベルはあると思うんですけれども、それによって学校給食センターでも対応できないと判断することも想定されているのかをお伺いいたします。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

現在、アレルギーで対応が必要な児童生徒は大体90人ぐらいいらっしゃいます。ただ、それぞれ品目によってそのアレルギーが卵だとか乳だとか、そんなところでありまして、一度にその日の給食で提供

するということはありません。まず、そこだけちょっと申し上げておきます。多いのが卵と乳ですね、そちらのほうで人数は重なってたりもします。卵も駄目、乳も駄目というお子さんがいらっしゃいますので、その人数が12名となっています。

それから重症度のところで申し上げますと、重篤な児童生徒のアレルギー等の判断、対応、管理につきましては、これから献立表、今も献立表とかあるんですが、その献立表にアレルギー対応欄、例えば除去食の対応を希望するのか、代わりの料理を家から持参するのか、できないのか、それとも品数が減っても給食を食べるか食べないかといった項目なんかもちょっと検討して、それは保護者に記入してもらうということを考えていますが、その辺は今後も保護者の確認をしっかりと取りながら実施していきたいと考えております。

いずれにしましても、今月も給食センターの先進地視察へ行っておりまいますが、そういった運営面もしっかり勉強してきて、特にアレルギー対策については、湖西市に合ったやり方・方法を考えていきたいと考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 相曽議員。

○1番（相曽桃子） 一番最初に今アレルギーを抱えているお子さんが90名ほどいらっしゃる、もちろんみんながみんな同じ卵と乳ではなくて細かいということですが、今後、給食センターになりますと1つのメニューで進んでいくと思います。今は自校式で多少メニューが違ったりというところがあると思うんですけども、市内全体で統一されると今90名いらっしゃる中で、今50食ほどマックス提供されるということなので、ちょっと足りなくなったりとかっていう懸念がこの90名を聞いてしまうとあるんですけども、その心配は要らないというふうに解釈をすればよろしいですか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

先ほどの90名というのは、例えば卵で10人、カニで何人、エビで何人、イクラで何人とかそういったトータルで90人というところで、それぞれお子さん

が私は卵が駄目、エビが駄目といったことになるかと思います。給食センターで提供するのは、こういったアレルギー物質が入った品目は1日1品目と要求水準書でも言ってますけど、そのような対応をしていきますので、90人ではなくて大体1品目で10人前後となっていますので、将来的には50食までは対応できるような質を設けてくださいというような、要求水準としてあります。

以上です。

○議長（馬場 衛） 相曽議員。

○1番（相曽桃子） あと一つ確認しておきたいんですけれども、今そのアレルギーをお持ちのお子さんが学校給食では対応できないので、持参している人数というのは今市内でどれぐらいいるか確認できますでしょうか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 完全にお弁当を持ってこられるお子さんは今1人いると聞いております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 相曽議員。

○1番（相曽桃子） これからはそのアレルギー対応については検討していく段階ということですので、なぜ私がここで今確認したかといいますと、先日、議会報告会がございまして、保護者の方からもやはりアレルギーの対策は、非常にシビアに考えていらっしゃるということでございましたので、しっかり検討していただいて、対応する保護者の方、またお子さんが安心・安全で給食が食べられるように検討のほうを引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

ちょっと質問内容が変わります。2番目に。

○議長（馬場 衛） 相曽議員ちょっとお願いがありますが、契約締結に関する部分とあと仕様書の部分についての確認はよろしいですけど、あとの部分につきましてはこれから後の一般質問等でやっていただきたい部分がございますので、一応答弁ができるかできないかだけは確認させていただきたいと思いますが、よろしいですか。

○1番（相曽桃子） 分かりました。

一応、市が行う業務の中に広報業務というものが入っておりました。市は園児、児童生徒及び保護者

などに対して、広報を行うというふうになってしま  
すけれども、具体的にどのように広報するのかとい  
うところをお伺いしたいと思います。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

市の業務、確かに広報業務ということで仕様書に  
も入れさせていただいております。今学校で献立表  
とか給食だより、こういったものを学校で発行して  
おります。今後、給食センターができればそちらの  
給食センターに一括して、そのようなことをこれか  
ら継続して行っていくということになります。

それから、給食センターということですので調理  
してる現場なども現地視察というか見学、そうい  
ったことも広報業務の一つかなと考えております。

以上です。

○議長（馬場 衛） 相曽議員。

○1番（相曽桃子） それでは、まだ具体的に何を  
するというのは、決まっていないというところでよ  
ろしいですか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） 今と同様に献立表、それ  
から給食だよりで、しっかり食育の推進とかそうい  
ったものにつなげていけるような広報をしていき  
たいと考えております。また、先進地なんかに行  
ってその辺もちょっといろいろ御教示いただき  
ながら、しっかり取り組んでいきたいと考えて  
おります。

以上です。

○議長（馬場 衛） 相曽議員。

○1番（相曽桃子） 分かりました、終わります。

○議長（馬場 衛） 以上で、1番 相曽桃子議員  
の質問を終わります。

ほかに、17番 神谷議員。

〔17番 神谷里枝登壇〕

○議長（馬場 衛） 17番 神谷議員、どうぞ。

○17番（神谷里枝） 17番 神谷里枝。同じく議案  
第100号について質疑を行わせていただきます。

まず、給食センターの整備・運営事業の契約締結  
ということですが、その合算した金額が契約  
金額の69億4,081万3,668円ということですが、  
もし説明が可能であれば、整備費用と運営事業を御

説明願いたいと思います。

○議長（馬場 衛） 登壇して答弁をお願いします。  
教育次長。

〔教育次長 鈴木啓二登壇〕

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

ざっくりした数字になってしましますが、整備事  
業費用といたしましては約30億円、それ以外は運  
営費ということで御理解いただければと思います。

以上です。

○議長（馬場 衛） 神谷議員。

○17番（神谷里枝） ありがとうございます。こ  
ういったものを10月23日の議員全員協議会資料でもあ  
りますけれども、まず9月20日に優先交渉権者のメフ  
ォスグループと基本提携を締結しました。その会  
社がSPC特別目的会社、今回は湖西スクールラン  
チという株式会社さんですけども、そこを設立し  
たことが報告されました。この特別目的会社とい  
うのは、まずは直接的に事業は行わないっていう解  
釈でよろしいでしょうか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

SPC特別目的会社の中には、グループとして建  
設企業も入っていますし運営企業も入っていますし、  
あとは設備とか調理器材とかそういった業者が入  
っていますので全てを行っていく、このスクールラン  
チという会社が全てを行っていくことになります。  
設計、建設、運営、業務を行っていただくことにな  
ります。

以上です。

○議長（馬場 衛） 神谷議員。

○17番（神谷里枝） そうしますと、先ほど同僚議  
員も質問ありましたが、実際に給食を調理する  
ところというのはどこになるかということをお聞き  
してもよろしい、そこまでまだ決まっていない、議  
員全員協議会の資料を見ましても建設とか云々とい  
うのはいいんですけど、やはり湖西市の子供たちに  
給食を提供するということでは、どこが入って給食  
を作って提供するのか、今まで現在も関わってくだ  
さっている業者さん入ってますよね、学校に。ああ  
いうふうに明確になっていると分かりやすいんです



けども、今回の資料をちょっと見ただけでは判断しかねるものですから、お伺いできればと思います。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） グループ会社の特に代表企業となっております株式会社メフォス、こちらのほうが主に給食業務・調理業務を担当していくことになります。雇用については、例えば提案では今従事している方の御意向があればそのまま雇用したりとか、そういったことも聞いております。いずれにしても、運営の中心となる給食の調理をするのはメフォスという会社が代表となってやっていきます。

以上です。

○議長（馬場 衛） 神谷議員。

○17番（神谷里枝） 私の浅知恵なんですけども、このメフォスグループというのは給食委託会社を紹介するというか探すとか、そういうとこのように思ったんです。そこが締結して、特別目的会社を立ち上げた。実際に調理を担当するところが、メフォスも多分1万7,000人ぐらい従業員の方がいるかと思いますが、そこから湖西市に派遣されて湖西市の学校給食を調理するんですか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） メフォスという会社は、議員も御承知かと思いますが全国展開しております、近場では豊橋市の給食センターもあったり、県内でも何か所かやってると、全国でも500何か所か給食センターも含めてやっているっていう実績もあるところになっております。

本社は東京都ですが、それぞれ支社があったりするものですから、今回は湖西市内にスクールランチというメフォスも入りますし、建設業者も入りますし設計業者も入りますし、そこで企業体として1つのスクールランチという会社をつくって、全てを行っていくということになります。

以上です。

○議長（馬場 衛） 神谷議員。

○17番（神谷里枝） 委託というか、お願いしてまたお願いしてというちょっとぐるぐる回ってしまうような感覚もないではないんですけども、そういった中でもし、先ほど仕様書という御指摘もありまし

たけども、多分1日4,000食ぐらいで締結していこうとしていらっしゃると思います。そういった中で、今児童数も減少云々って言ってたときに、その数字を満たされなかった場合等についても、そういうこともしっかり締結していこうということになってるのでしょうか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

確かに少子化が進行してるということで児童数も減っていく、それから今学校再編なんかもやっておりまして、配送校の数も変わることが予測されます。そういったものも契約のほうに、今後の変更協議というところで盛り込んでまして、例えば配送校が減るなら市から申出をする。それから、例えば法律的なことで変更があったりすれば事業者から、お互い双方協議をしていくという項目も契約書の中に入れてありますので、そういったことが起きたら協議をして、要するに合意的な必要が認められる場合ということになっていきますが、そこは変更、協議をしていって今後のサービス対価の増減を決めていくことになっていくかと思います。

以上です。

○議長（馬場 衛） 神谷議員。

○17番（神谷里枝） 分かりました。そういった変更協議も行っていくということも確認できましたので、やっぱりどんどん給食費も上げていかないととか、無償化の問題もありますけどもそういった細かいこともいろいろ懸念されますので、最初に締結するときにしっかりそういった契約を結んでいただければと思います。

仕様書って言われちゃうかもしれませんが、この食育の推進というところでシェフと連携した食育推進というものもあったんですけども、このシェフというところの実態もしっかり把握されていらっしゃると思いますか。

○議長（馬場 衛） 教育次長。

○教育次長（鈴木啓二） お答えします。

シェフと、有名店のシェフなんかがそこに入っているグループと私は理解してるんですが、そんな方たちも呼んでそういった食育、いろいろお話をしても

らうだとかそんなことをしてもらおうということを提案をいただいています。

以上です。

○議長（馬場 衛） 神谷議員。

○17番（神谷里枝） ありがとうございます。本当に、テレビに出てるような有名シェフも関わっているようですので、そこら辺は食に関心を持っていてくれれば子供たちが、そんないいことはないかなと思います。

分かりました。以上で私の質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（馬場 衛） 以上で、17番 神谷里枝議員の質疑を終わります。

ほかに質疑のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。本件は、会議規則第37条第3項の規定に基づいて、委員会の付託を省略することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 異議なしと認め、本件は委員会の付託を省略いたします。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 以上で討論を終わります。

それでは、議案第100号について採決いたします。本案を原案のとおり承認することに賛成議員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（馬場 衛） 挙手全員であります。したがって、議案第100号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（馬場 衛） 日程第4 議案第101号 令和6年度湖西市一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

なお、議案の朗読は省略いたします。

市長に提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 議案第101号につきまして御説明をいたします。

今回の補正につきましては、歳入歳出それぞれ77万円を増額し、総額を262億5,699万円にしようとするものでございます。

補正予算の内容といたしましては、健康福祉センターおぼと1階の多目的トイレにユニバーサルシートを設置するため、修繕料を増額するものでございます。

財源といたしましては、一般寄附金を充てて対応するものでございます。

よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（馬場 衛） 説明は終わりました。

質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。本件は、会議規則第37条第3項の規定に基づいて、委員会の付託を省略することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 異議なしと認め、本件は委員会の付託を省略いたします。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（馬場 衛） 以上で討論を終わります。

それでは、議案第101号について採決いたします。本案を原案のとおり承認することに賛成議員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（馬場 衛） 挙手全員であります。したがって、議案第101号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（馬場 衛） 以上で本日の日程は終了いたしました。

今臨時会は、影山市長の任期中最後の本会議となりますので、市長から一言御挨拶をいただきたいと思います。市長、よろしく願いいたします。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 臨時議会で議案の御審議をいただきましてありがとうございました。また、議会後といたしますか、議会の審議後にこのような貴重な

機会をいただきましてありがとうございます。

先ほども議長からありましたけれども、今回の議会が最後ということで、2期8年、あつという間のような、逆に何十年もここで過ごしたとか何十年も働かせていただいたような、いろんなことがあり過ぎたような、ちょっと頭の整理がつかないというか、まさか歌舞伎まで演じるとは思ってませんでしたし、そんな今、率直にはそんな状況ではありません。

2016年（平成28年）4月、約8年半ちょっと前ぐらいだったと思います。42歳で湖西市に帰ってきました。18歳で高校卒業してからしばらく湖西市には、お盆とか正月ぐらいの帰省だけだったものですから久しぶりに帰ってきて、それから市内をいろいろ動いたり回らせていただいたりしました。

そういったときとか、あとは市民の方とお話するとき、またこういった2016年（平成28年）12月、市長になったとき、今この議場にも初めて来させていただきましたけれども、市役所というか湖西市がとか何とも言えない雰囲気、失礼な言い方かもしれませんが閉塞感というか鬱憤がたまってるような雰囲気、言葉にするのが難しいんですけどいろんな方が世の中とか市とか、怒ってるような雰囲気、またそれを受ける側もこれも言葉にすることが難しいんですけど、平成も28年ぐらい今たってるんですけど、その当時も失礼ながらこの町の雰囲気が昭和とか、市役所では何回も言いましたけど昭和のぬるま湯の雰囲気とか、動かない、変わらないような雰囲気を失礼ながら感じておりました。

そして、市長としての仕事がスタートしていろんなお言葉とか、毎日が針のむしろといいますか、右往左往したり紆余曲折だったり罵詈雑言を浴びたりとか、ちょっと後ろ向きなキーワードばかりじゃいけないんですけど、そんな感じで何度も心は折れかけましたけれども、やっぱりやるからにはやるしかないなということだったり、前向きに前を向くしかないなというような思いを持って、腹をくくってといいますか、文字どおりに毎日全力投球でやらせていただいた8年間だったかなというふ

うに今振り返って率直には思っています。

当時の政策といいますか、こういった前もここでお示ししたかもしれませんが政策のリーフレットもつくらせていただいて、今大分これがもうできたものがあつたり現在進行形のものもあつたりというのは様々ですけども、こういったものを考えながら当時も走り回ったり走りながら考えてるうちに、市民の皆さんだったり企業の方々、もちろん市役所の職員さんだったり本当に多くの方々のお力とか御協力をいただいて、その当時言われていた湖西病院とか市民複合施設だとか子育て支援、地域医療、道路や河川のインフラ整備、脱炭素、防災、観光、産業振興、様々各種の計画もつくりながら現在進行形で様々な物事を進めさせていただいているところです。個別の中身を一つ一つ取り上げると切りがありませんので、目の前のそういった課題とか事業だけではなくて、コロナ禍もありましたけれども一つ一つの事務事業だけではなくて湖西市として持続可能な発展、湖西市が減びないようにといいますか、持続可能なために例えば中長期のモノづくりの人材育成ですとか産業ネットワーク、土地の利活用の推進、宅地だったり工業・商業用地だったりということ、これは本当に市民の方々、企業、また湖西市以外の自治体だったり自治体との広域連携だったり様々な関係者の方々と一緒になって、未来の湖西調査事業とか提案制度とかいろんなものを創設しながら、制度もつくりながら予算も考えながら公民連携したり官民共創したり、広域連携を行って様々な分野で物事が動き始めたのかな、止まっていたものが動き始めた、転がり始めているのかなというふうには個人的には感じさせていただいております。

もちろんまちづくりは永遠ですしゴールがないものだと思います。今もこれからも様々な市民の方だったり、様々多くの御要望だとかそういったものはいただけてるし、これからもいただくでしょうし、時代ごとの様々な課題が移り変わったり、もしくは時間をかけて進めるような政策などたくさんあるというふうに思います。

僕はこの8年間ということですので、この8年で種をまいたり芽が出てきたというものもあろうかと

いうふうに思ってますけれども、土地の利活用をはじめとする職住近接に向けた、そういった花が咲いたり実がなったりというのを市民の皆さんが実感するのは、10年とか20年先になるのも多いかなというふうに考えてます。僕も、それを実現したなというふうに感じたり見るのを今から楽しみにさせていただいております。

他方で、6月議会だったと思いますけれども、退任します、辞めますというふうに言うってから市民の方々、または仕事で浜松市とか東京都だったりに行くたびに、少なくとも100回以上は言われたと思いますけれども、何で辞めるのか、どうするのか、湖西市が変わってきたのに次はどうすんのというふうに、100回じゃ利かないと思いますけれども言われ続けたし、この前は市役所の前の駐輪場でもそんな話をどなたか分かりませんが市民の方に話しかけられました。

これまで、これは個人的なことになりますが、湖西市ではもちろんですけども湖西市に帰ってくる前、例えば平成13年とか14年の金融危機の頃は金融庁で竹中平蔵大臣になって、不良債権処理の金融再生プログラムというものを初めてつくらせていただいたりですとか、平成22、3年頃は上海にいて、上海の日本児学校というのがありまして、人数が多かったので子供たちのために高等部をつくろうということになって、世界で初めて高等部をつくったりとか、なかなか役所にいても前例のないことを多くやってきたのかなというふうに自分では振り返っています。

そういった感じで、自分の人生が前例のないことをやる人生なのか、火中の栗を拾う人生なのか、世間が思うことといえますか、世間を驚かせるような歩みになる人生なのか、自分でも自分の人生がよく分かってないんですけども、いずれにしてもこれからは今年50歳になりましたし、人生50年を過ぎた一市民として、そして今世の中でも言われ始めている自らがスタートアップとなって、官民共創であったり公民連携であったり行政と企業、団体をつないだりして行政だけでは手の届かないところ、これは市長としてやってみて非常によく分かりました。

なかなか人だったり予算だったり、その他の制度も含めて行政だけで手の届かないところもたくさんあります。そういったところを例えば企業の地域貢献、ビジネスモデル、ESG投資、様々今言われてますけれどもそういったものをマッチングしたり、できれば一緒にプロジェクトを行ったりしてソーシャルビジネスにつながるような、そして地域が公共交通だったり今上下水道、またインフラ整備、防災、DXなど様々な悩み事、困り事、地域の課題、地域の困り事を一つでも前に進めるとか、できれば課題の解決につながるようなそんなことができたらというふうに思っておりまして、もちろんうまくいくかどうかは全く分かりません。正直、自分も辞めますと言ってからすごい不安と逆にわくわくする気持ちと両方がずっと混在してるんですけども、10月30日の豊田佐吉翁の顕彰祭でも申し上げたとおり、「障子を開けてみよ、外は広いぞ」の精神も受け継ぎながらチャレンジをできたらなと自分では思っております。

このふるさと湖西市、僕も生まれ育ったこの大好きなこのまちだったりこの地域をよくしていく、未来を担う子供たちの未来に向けても持続可能で、もっと元気でまたさらに笑顔になれるようなそんな、立場はこれから変わったとしてもこれまで市長というなかなか経験させていただけない貴重な経験を生かして、引き続きチャレンジをしていきたいというふうに思っております。

取り留めのない話になってしまいましたけれども、地元には居続けて、そしてそういった新しいチャレンジをしていきたいと考えておりますので、ぜひまた、皆さんとまたどこかで御一緒させていただいたりすることもあるかもしれません。

結びになってしまいますけれども、改めて議会の皆様、そして様々関係者の皆様に心からこの場を借りまして感謝、お礼を申し上げたいというふうに思っております。そして、引き続き一緒に湖西市を、この地域をよりよいまちにしていけたらと思ってます。よりよいまちにしていきましょう。本当にありがとうございました。

○議長（馬場 衛） 任期中の最後の本会議という

ことで、影山市長から御挨拶をいただきました。長い間、答弁等をいろいろ頑張っていた、そのことにつきまして感謝とお疲れさまと一言言いたいなと思ってます。

まだ、12月5日まで1か月余ありますので、最後まで全力投球でお願いしたいと思います。

それでは、これにて令和6年第3回湖西議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

午前11時01分 閉会

---

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長            馬   場            衛

署名議員        寺   田            悟

署名議員        山   口   裕        教